

総合的な学習の時間 「だれもがくらしやすいまち」

大磯町立国府小学校



単元（題材）目標

- 自分たちの周りには様々な人がいて、それぞれに生活を送っていることに気付く。
- 障がいがある人の生活や気持ちに触れることにより、誰もが幸せに生活するにはどうしたらよいかについて考える。
- みんなが共に幸せに暮らせるように、日々の生活の中で自分ができることを実践していこうとする。

（1）実施時期

令和元年10月18日（金）

（2）対象（学年等・人数）

第4学年 104名 教諭3名



（3）指導者（教諭・外部講師等）

大磯町社会福祉協議会 ボランティア手話の会「磯の会」9名

（4）実施内容

- ① 講演「視覚障がいについて」
 - ・目の不自由さについての説明
 - ・補助道具の紹介（時間になるとライトが光るアラームなど）
- ② 手話体験
 - ・口語でのコミュニケーションゲーム
 - ・日常で使う手話の紹介
 - ・身振り手話による劇
 - ・児童一人ひとりの名前、手話での表し方
- ③ 質疑応答

（5）成果

- 手話は、そのものの様子やイメージから作られているものも多いことに気づき、様々な人がコミュニケーションをとるためのツールの一つとして、手話への興味が高まった。